

お茶の水フォーラム 第7回 講演会

宇宙航空研究開発機構 Flight Surgeon

松本 暁子

宇宙医学 Flight Surgeon



人類として初めて宇宙に飛びたったのは、旧ソ連のユーリ・ガガーリン飛行士。1961年4月12日のことであった。それから半世紀以上が経過した今日では、人類は、ただ宇宙にいくだけでなく、長期間、宇宙滞在をするようになってきている。有人宇宙活動に不可欠な宇宙医学も、人類の宇宙空間での活動の拡大とともに発展してきた。

世界15か国が参加している国際宇宙ステーション(ISS)計画は、ノーベル平和賞候補にもなり、世界最大の国際協力のもと、宇宙での微小重力環境を利用した様々な研究を行っている。日本もISSに参加し、独自のモジュール(JEM)を打ち上げ、国産ロケット(H2B)でHTV(このとおり)により日本からISSに物資輸送をし、宇宙飛行士累積宇宙滞在日数では、ロシア、米国に次いで3位となり、ISSにおける存在感を増している。

今回の講演では、日本人飛行士が参加した宇宙ミッションや、宇宙環境で生じる医学的影響、宇宙医学を専門とし宇宙飛行士の健康管理に携わる Flight Surgeon の仕事についてご紹介する。

2017年4月1日(土)

会場/お茶の水医学会館9F (文京区湯島1-5-34)

●11:30~12:30 / 講演会 (開場11:00)

●12:30~13:00 / 懇親会

(ワイン、ソフトドリンクをご用意しております)

対象者/同窓会員、会員家族、大学関係者、本学学生、一般の方

会費/1,000円

定員/50名

申込締切/2017年3月17日(金) ※定員になり次第受付終了

宇宙航空研究開発機構 Flight Surgeon
東京医科歯科大学客員教授

講師
松本 暁子 (医38・平2卒)

Akiko Matsumoto, MD., PhD., MSc., FACP

略歴

東京医科歯科大学医学部卒業、東京医科歯科大学医学部大学院博士課程修了、米国Wright State University 航空宇宙医学修士課程修了、徳島大学大学院 客員教授(兼務)、東京医科歯科大学客員教授(兼務)



主な宇宙ミッション業務

- スペースシャトルミッションSTS-131 (2011)
山崎直子飛行士 Crew Surgeon (専任医師)
- 国際宇宙ステーションミッション JAXA 飛行士 (古川・星出・大西)
精神心理医学面談担当医師 (2012-現在)
- 国際宇宙ステーション Expedition 38/39 (2013-4)
若田光一飛行士 Crew Surgeon (専任医師)
- 国際宇宙ステーション Expedition 44/45 (2015)
油井亀美也飛行士 Crew Surgeon (専任医師)
- 国際宇宙ステーション計画
飛行中医学ワーキンググループ 議長 (2014-現在)

お申込み
お問合せ先

主催：一般社団法人 東京医科歯科大学医科同窓会(イベント企画委員会)

TEL:03-5689-2228 FAX:03-5689-2229

http://www.ochanomizukai.gr.jp/ E-mail: ikadoso@ikadoso-tmdu.jp

〒113-0034 文京区湯島1-5-34 お茶の水医学会館7F ★詳細はHPの「イベント情報」をご覧ください